

ひるまだより

2015.07 vol.64



OPひるま歯科 矯正歯科

OP Hiruma Dental Clinic

〒190-0012 立川市曙町1-36-1曙第3ビル2F TEL=042-526-3376
HP=http://www.hiruma.or.jp/ E-mail=clinic-contact@hiruma.or.jp

8月

日	月	火	水	木	金	土
						01
休	03	04	05	休	07	08
09	休	11	12	休	14	15
休	休	休	休	休	21	22
23	休	25	26	休	28	29
休	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
			01	02	休	04 05
休	07	08	09	休	11	12
13	休	15	16	休	18	19
休	休	休	休	休	25	26
27	休	29	30			

患者さんインタビュー32 Sさん

他医院で受けたクイック矯正と違い しつかり噛み合うようになりました

インタビューの内容をダイジェスト版でお届けします。
全文はホームページに掲載していますのでご覧ください。

◆矯正治療を始めたきっかけを教えてください。

「小さい頃から前歯が出ていて口が閉じづらく、見た目も気になっていたのですが、18歳くらいの時に、費用も安く治療も一日で終わる「クイック矯正」の治療を受けました。確かに1日で終わったのですが、前歯の表面を削って「つけ歯」を貼りつけるという方法で、時間がたつにつれて「なんだかおかしい」と思うようになり、多少歯並びはよくなりましたが噛み合わせは改善されなかったし、何よりも、「健康な歯を削られてしまつて将来どうなるん

だろう」という不安な気持ちが大きかったですね。矯正治療を受けたとは言え、この治療方法では根本的な問題が解決されていないことを実感しました。社会人になってある程度お金の融通もきくようになったので専門の医院でしつかり治療してもらおうと、改めて矯正歯科探しを始めました。

◆矯正歯科はどのように探しましたか。

「インターネットで検索して出てきた矯正歯科を10軒くらい選び、カウンセリングを受けました。OPひるま歯科矯正歯科に決めたのは、カウンセリングの時、書間先生が歯の健康について、長い目で見て考えていくことの必要性などについてお話しくださったこと、信頼できそうだと考えたからです。これまで目先のことしか考えていなかった自分が間違っていたことに気づきました。

◆治療結果はいかがでしたか。

「クイック矯正で前歯を削られてしまい、矯正期間中は仮歯をつけてもらっていたのですが、治療が終わって新しい前歯を最後に付けてもらったときは本当にうれしくて、ずっと鏡を見ていました(笑)。クイック矯正のときとは違い、下あごと上あごがしっかりと噛み合うようになり、食べ物も噛み切れるようになりましたし、自然に口を閉じられるようになりました。今、妊娠中なのですが、OPひるま歯科矯正歯科で歯の健康についてしつかり教えてもらったので、生まれてくる子は絶対むし歯にならないように赤ちゃんのうちからお口のケアをしつかりしてあげたいと思っています。

書間先生は患者と話し合いながら一緒に歩んでいるところがすばらしいと思います。矯正治療が終わわり、前歯に新しい歯をつける時は、むし歯・歯周病担当医師の直末先生と、歯の形や色をどうするかについて何度も話し合っていたので、本当に感謝しています。衛生士さんもすごくやさしくて毎回親身になって指導してくれ、歯並びがよくなっていく過程を一緒に喜んでくれました。OPひるま歯科矯正歯科で治療して本当に良かったと思います。



Sさんの症状について解説します

●初診時の診断：「上突咬合 上突歯列 叢生歯列 下後退顎」

Sさんは、他医院で短期間で歯並びが治ると謳われているクイック矯正を受けたものの噛み合わせは改善されず今後は不安に思い来院されました。生まれつき唇側傾斜し突出していた上顎左右1番を削って被せものにしたため、歯頸部付近の突出感に残り、左右の歯の長さは非対称でした。また、左右1番の歯冠が連結されていて叢生も改善されていないので衛生状態は低下し細菌が附着し歯肉は炎症を起こしている状態でした。本症例は本来であれば上下左右4番を抜歯して治療を行う事が理想的な症例でした。しかしすでにクイック矯正により上顎左右1番が削られて補綴物を装着されてしまった事、失活歯が存在する事により矯正治療後の歯の安定性を考えて抜歯部位の変更が必要と判断し2方針を提案、上顎左右1番は動的治療後に審美性の高いセラミックの補綴物に変更する事としました。動的治療後は上下顎前歯の後退により口唇突出感や口唇閉鎖時の緊張感は改善しました。またアンカースクリューにより上顎の大臼歯が圧下されたことで下顎が前上方に回転し下顔面高が減少、オトガイも明瞭になりました。

初診時



方針1



【方針1】上左右4番、下左右5番の抜歯（上顎前歯部の審美性を考慮して上顎右2番の失活歯を残す方針）

【方針2】上左右2番、下左右5番の抜歯（上顎右2番の失活歯を抜歯とする方針）

方針2



両方針とも上左右1番の補綴物を除去して仮歯を装着し、矯正治療中に仮歯の形態を修正しながら歯並びを整えることとした。

2方針を提案した結果、審美性を優先し方針1を選択された。

保定開始後 上顎左右1番のクラウン再製

